

沖縄新大学院大学の中部地域への設置に関する要請決議

経済社会環境の変化が著しい中で、国が検討している沖縄新大学院大学構想は急速に進展する科学技術に対応できる人材育成機関として、また、知的国際貢献の一翼を担うものであると認識しているところであります。今日の交通通信の画期的な発達、国際化のスピードを早め、国際間における交流や連携の必要性がいちだんと高まり、技術協力・経済文化交流・平和外交など積極的な対応が求められております。特に、情報通信技術や環境技術の国際貢献は、要求の最も強い分野でありその推進役となる国際的人材の育成が中部各市町村にとっても重要かつ緊急を要する課題となっております。

さて、平成14年11月23日に沖縄新大学院大学候補地の推薦に関する検討委員会は、「北中城村米軍アワセゴルフ場跡地」のほか二地区が候補地として内定し、12月2日に沖縄県知事へ答申しました。中部地区から内定した「北中城村米軍アワセゴルフ場跡地」は、土地所有者が理解を示し用地取得・利用が容易であり、世界遺産の中城城跡を中心とする自然と住・教育面の環境や沖縄自動車道のインターチェンジが近くにあり交通接続などの利便性にすぐれております。とりわけ、北中城村米軍アワセゴルフ場跡地近隣には大学院大学の外国人スタッフの家族が生活に必要な米人学校、教会、病院、ショッピングセンター、レジャー施設等生活関連施設も充実しております。

つきましては、地域振興のためにも国が検討している世界のトップレベルを目指す大学院大学を、戦後57年間の外国人との交流があり外国人を温かく迎える風土もあり、真に友好・互惠の関係に立った国際交流を推進することができる中部地区の「北中城村米軍アワセゴルフ場跡地」に設置されるよう貴職の特段のご支援をお願い申し上げます。

以上、決議する。

平成14年12月12日
沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

内閣総理大臣
財務大臣
沖縄及び北方対策担当大臣
防衛庁長官
防衛施設庁長官